

問1 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして起こした「承久の乱」ののち、幕府が京都に設置した「六波羅探題」という役職の目的として最も適切なものはどれか。 (2020年 高知県公立入試 類似)

1. 朝廷の動きを監視し、あわせて西国の守護や地頭を統制するため
2. 全国から提出される訴訟を専門に扱い、裁判を迅速に進めるため
3. 幕府の財政を管理し、年貢の徴収や公定価格の維持を行うため
4. 将軍の身边を警護し、鎌倉に住む御家人の不満を解消するため

問2 日本の時刻の基準となる「標準時子午線」が通る兵庫県の都市と、その経度の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 高知県公立入試 類似)

1. 兵庫県姫路市 ― 東経135度
2. 兵庫県姫路市 ― 東経140度
3. 兵庫県明石市 ― 東経140度
4. 兵庫県明石市 ― 東経135度

問3 日本における情報公開の仕組みが普及した経緯について述べた文章のうち、その特徴を正しく説明しているものを選択してください。 (2024年 高知県公立入試 類似)

1. 国際連合による勧告を受け、すべての地方公共団体が同じ内容の「情報公開条例」を同年に一斉に施行した
2. 企業の内部不正を防止することを主眼として、まず民間企業を対象とした「情報公開制度」が全国で一斉に導入された
3. 憲法第21条の表現の自由を根拠として、第二次世界大戦直後に国レベルの「情報公開法」が直ちに制定された
4. 地方自治の重要性から、国の「情報公開法」よりも先に、高知県などの地方公共団体で「情報公開条例」が制定された

問4 江戸幕府が参勤交代の制度を維持し続けた背景には、大名の軍事的な勢力を抑える目的がありました。その仕組みを、経済的な観点から説明したものとして適切なものを選んでください。 (2017年 高知県公立入試 類似)

1. 大名に多額の費用を負担させることで蓄えを減らし、軍備を整える余力を奪うため
2. 領地の特産品をすべて江戸で安く販売させ、藩の収入を幕府の財政に組み入れるため
3. 大名が江戸に滞在している間、その領地の検地を幕府が自由に行えるようにするため
4. 江戸の商人に多額の税を課すため、大名を無理やり江戸の市場に参加させるため

問5 沿岸から二百海里までの範囲で、沿岸国が水産資源や海底にある鉱物資源などを独占的に管理する権利が認められている海域の名称として、正しいものを選択してください。 (2020年 高知県公立入試 類似)

1. 公海
2. 接続水域
3. 領海
4. 排他的経済水域

問6 夏の東北地方において、太平洋側の海から陸地に向かって吹き込む、冷たく湿った北東方向の風を何と呼びますか。 (2024年 高知県公立入試 類似)

1. やませ
2. からっ風
3. フェーン
4. 季節風 (モンスーン)

問7 日本の就業者数の割合が、1910年時点の約20%から、経済の発展とともに右肩上がりに上昇し続け、2000年頃には全体の60%以上を占めるようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)

1. 高度経済成長期において、道路や鉄道などの社会資本整備のために建設業の就業者が激増したため。
2. 食料自給率の向上を目指した政府の政策により、大規模な農地経営に携わる人々が増えたため。
3. 重化学工業への転換が進み、輸出を中心とした製造業の雇用が大幅に拡大したため。
4. 経済の成熟に伴い、生活の利便性を高めるサービス、流通、情報通信などの需要が増大したため。

問8 飛鳥時代、聖徳太子(厩戸王)が603年に定めた「冠位十二階」の制度は、それまでの「氏姓制度」による官職のあり方をどのように変えようとしたものですか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 高知県公立入試 類似)

1. 家柄にとらわれず、個人の能力や功績がある人物を役人として登用すること。
2. 有力な豪族が代々特定の官職を独占し、世襲することを保証すること。
3. 仏教の教えを広めるために、僧侶に対して位階を授けること。
4. 地方の豪族に対して、領地の支配権を認める代わりに軍役を課すること。

問9 茨城県の産業構造について、野菜の産出額が米や果実を大きく上回り、かつ製造品出荷額等が非常に高い数値を示している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)

1. 大消費地に近い利点を生かした農業と、臨海部などの大規模な工業開発が組み合わさっているため
2. 温暖な気候を利用して果実の輸出を促進し、内陸部にハイテク産業を集積させているため
3. 広大な冷涼な土地を利用した大規模な稲作と、伝統的な工芸品の生産に特化しているため
4. リアス海岸での養殖業を基盤とし、重化学工業を縮小して観光業へ転換したため

問10 赤道付近の都市における雨温図では、年間を通じて月平均気温が25度以上と高く、かつ各月の降水量が常に多いという特徴が見られます。このような熱帯雨林気候において、降水量が一年中多い理由として正しい説明はどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)

1. 強い日射によって上昇気流が発生しやすく、午後を中心にスコールと呼ばれる激しい雨が頻繁に降るから
2. 季節風(モンスーン)が一年中同じ方向に吹き続けるため、海からの湿った空気が常に供給されるから
3. 冷たい親潮と暖かい黒潮がぶつかる潮目にあたるため、上昇気流が発生して雲がでやすいから
4. 高緯度地域から吹き下ろす冷たい季節風が、赤道付近の暖かい海上で水分を吸収して雪を降らせるから

問11 社会保障における「公助」の考え方にに基づき、生活保護などの「公的扶助」が行われる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 高知県公立入試 類似)

1. あらかじめ保険料を出し合い、予測できない病気や事故に備えて相互に支え合うため。
2. 家族やボランティア、地域住民が互いに協力して、高齢者や子供の生活を支えるため。
3. 自助や共助では対応できない困窮に対し、国が最終的な責任として税金により生活を保障するため。
4. 民間の保険会社が運営するサービスを通じて、個人の責任で将来のリスクに備えるため。

問12 三重県の志摩半島付近では非常に複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような地形を利用して盛んに行われている産業とその理由について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2020年 高知県公立入試 類似)

1. 海岸線が直線的で大型船の接岸が容易であるため、石油化学コンビナートなどの重化学工業が集中している。
2. 広大な砂浜が広がり遠浅な海域となっているため、大規模な塩田による製塩業が発達している。
3. 入り江の中は外海からの波の影響を受けにくく穏やかであるため、真珠やカキなどの養殖業が盛んである。
4. 遠浅の入り江を大規模に埋め立てた人工的な土地を利用して、施設園芸農業による野菜の促成栽培が行われている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 朝廷の動きを監視し、あわせて西国の守護や地頭を統制するため	承久の乱で勝利した鎌倉幕府は、朝廷の権力を抑え、再び反乱が起きないように監視を強める必要がありました。そこで京都に六波羅探題を置き、朝廷の監視とともに、それまで幕府の支配力が弱かった西日本の武士（守護・地頭）をコントロールする役割を持たせました。これにより幕府の全国支配がより強固なものとなりました。
問2	答え 4 兵庫県明石市 ― 東経135度	日本では1886年の勅令により、兵庫県明石市を通る東経135度の経線を「標準時子午線」と定め、これを日本の時刻の基準としています。経度15度ごとに1時間の時差が生じる仕組みにおいて、イギリスの旧グリニッジ天文台（経度0度）との時差がちょうど9時間となるこの経線が選ばれました。選択肢にある姫路市は、明石市の西隣に位置する都市ですが、標準時子午線の基準とはなっていません。
問3	答え 4 地方自治の重要性から、国の「情報公開法」よりも先に、高知県などの地方公共団体で「情報公開条例」が制定された	日本の情報公開制度は、国よりも先に地方自治体で先行して導入されたという歴史的背景があります。1980年代に高知県などで「情報公開条例」が制定され、住民による行政監視の仕組みが整えられました。その後、こうした地方での実績や国民の要望が高まったことで、1990年代末に国レベルでの「情報公開法」の制定へとつながりました。これは地方自治が「民主主義の学校」と呼ばれる役割を果たした一例と言えます。
問4	答え 1 大名に多額の費用を負担させることで蓄えを減らし、軍備を整える余力を奪うため	参勤交代は、大名の妻子を人質として江戸に住まわせる精神的な拘束だけでなく、経済的な拘束としての側面も持っていました。大名行列にかかる莫大な旅費や、華やかな江戸での生活費が藩の財政に重くのしかかりました。これにより、藩が独自に軍隊を強化したり、城を改修したりする資金を捻出できないようにし、幕府による長期的な安定支配を実現しました。
問5	答え 4 排他的経済水域	国連海洋法条約に基づいて設定される海域です。沿岸から12海里（約22km）までの領海とは異なり、この海域では他国の船舶の航行自体は認められていますが、魚介類などの水産資源や石油・天然ガスなどの鉱物資源については、沿岸国が優先的に利用・管理する権利を持ちます。
問6	答え 1 やませ	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込むことがあります。この現象は、初夏の爽やかな気候とは対照的に、どんよりとした曇り空や霧をもたらし、気温が上がらない原因となります。群馬県などで冬に吹く乾燥した「からっ風」とは、季節や湿度の面で対照的な特徴を持ちます。
問7	答え 4 経済の成熟に伴い、生活の利便性を高めるサービス、流通、情報通信などの需要が増大したため。	就業者数が一貫して増加し、2000年時点で過半数を超えているのは第三次産業です。経済が発展して社会が豊かになると、人々の需要は物質的なモノ（製造業）だけでなく、情報、教育、娯楽、金融、介護といったサービスへと移り変わります。これを「経済のソフト化・サービス化」と呼び、先進国に共通して見られる産業構造の変化です。
問8	答え 1 家柄にとらわれず、個人の能力や功績がある人物を役人として登用すること。	当時の日本は、氏（家柄）によって地位が世襲される氏姓制度が中心でしたが、聖徳太子は天皇中心の国づくりを進めるため、個人の才能を重視するこの制度を導入しました。これにより、家柄が低くても能力のある者が朝廷の重要な役人として活躍できる道が開かれ、官僚機構の整備が図られました。
問9	答え 1 大消費地に近い利点を生かした農業と、臨海部などの大規模な工業開発が組み合わさっているため	茨城県は首都圏の食料供給を支える農業県としての側面と、鹿島臨海工業地帯などを中心とした工業県としての側面を併せ持っています。特に野菜の産出額が多いのは近郊農業の恩恵であり、製造品出荷額が高いのは、鉄鋼や石油化学、機械工業などの大規模な工場が集まっていることによるものです。
問10	答え 1 強い日射によって上昇気流が発生しやすく、午後を中心にスコールと呼ばれる激しい雨が頻繁に降るから	赤道付近の熱帯雨林気候では、強い太陽光が地表を温めることで空気が膨張して上昇し、低気圧が発達しやすくなります。これにより発生した上昇気流が雲を作り、毎日のように短時間の激しい雨（スコール）をもたらすため、雨温図では乾季が見られず、一年中高い降水量を示すこととなります。
問11	答え 3 自助や共助では対応できない困窮に対し、国が最終的な責任として税金により生活を保障するため。	社会保障には、自分で自分を助ける「自助」、保険料を出し合って助け合う「共助」、そして国や自治体が税金を使って助ける「公助」という考え方があります。公的扶助は、自力での生活（自助）や社会保険（共助）による支えが十分でない場合に、最後のセーフティネットとして公の責任で実施されるため、「公助」に分類されます。
問12	答え 3 入り江の中は外海からの波の影響を受けにくく穏やかであるため、真珠やカキなどの養殖業が盛んである。	リアス海岸は、深く入り組んだ湾が連続するため、外海の荒い波が遮断されるという特徴があります。この「波が静か（穏やか）である」という利点を活かして、志摩半島では真珠の養殖、三陸海岸ではカキやワカメの養殖などが盛んに行われています。一方、平地が少ないため大規模な工業地帯や農業用地の確保には向きません。